

観点	Here We Go! 評価規準	評価項目	A 十分満足できる姿	B おおむね満足できる姿	C 努力を要する状態
知識・技能	<p>〈知識〉 My birthday is ...やWhat do you want for your birthday?などの表現について理解している。</p> <p>〈技能〉 誕生日や誕生日にほしいものについて、When is your birthday?やWhat do you want for your birthday?などの表現を用いて伝え合う技能を身につけている。</p>	語句や表現の使用	自分の誕生日や誕生日に欲しいものについて、学習した語句や表現に既習のものを加え、伝え合っている。	自分の誕生日や誕生日に欲しいものについて、学習した語句や表現を使って伝え合っている。	一人では、自分の誕生日や誕生日に欲しいものについて伝え合うことがまだ難しい。
思考・判断・表現	お互いのことをよく知るために、自分や相手の誕生日や誕生日にほしいものについて伝え合っている。	やり取りの流れ	お互いのことを知るために、自分の誕生日や誕生日に欲しいものについて、内容を加えながら相手に伝えたり、相手の話すことに反応するだけではなく一言付け加えたりして、伝え合っている。	お互いのことを知るために、自分の誕生日や誕生日に欲しいものについて、相手に伝えたり、相手の話すことに反応する表現を返しながら伝え合っている。	一人では、伝え合ったり、相手の言うことに反応したりすることがまだ難しい。
主体的に学習に取り組む態度	お互いのことをよく知るために、自分や相手の誕生日や誕生日にほしいものについて伝え合おうとしている。	相手意識・伝える工夫	相手に伝わりやすいようにジェスチャーを工夫して伝えたり、相手の理解度を確かめながら、わかりやすく伝え合おうとしている。	相手に伝わりやすいようにはっきり伝えたり、相手の話すことになづいたりしながら、伝え合おうとしている。	一人では、相手を意識して、工夫して伝え合うことがまだ難しい。

◇発音・文法の正確さについては評価の対象としない。

【発話例】

S1: When is your birthday?
 S2: My birthday is January 23rd.
 S1: What do you want for your birthday?
 S2: I want a big Teddy bear.
 S1: Oh, you want a Teddy bear.
 S2: Yes. I like bears very much. Do you like bears?

- ・学習した語彙・表現に既習の表現を加えている。
- ・相手への答えに一言付け加えている。
- ・相手の答えに反応している。
- ・たずね返している。

【発話例】

S1: When is your birthday?
 S2: My birthday is January 23rd.
 S1: What do you want for your birthday?
 S2: I want a Teddy bear.
 S1: Oh, you want a Teddy bear.

【改善点を含む発話例】

S1: When is your birthday?
 S2: My birthday is January 23.
 *序数でなく数字で答えている。
 S1: What do you want for your birthday?
 S2: I want くまのぬいぐるみ。(日本語で返答)/
 またはI like ~.で答えてしまうなど。
 S1: Oh, you want a Teddy bear.

観点	Here We Go! 評価規準	評価項目	A 十分満足できる姿	B おおむね満足できる姿	C 努力を要する状態
知識・技能	<p>〈知識〉 国名やWhere do you want to go? I want to go to..., You can....などの表現について理解している。</p> <p>〈技能〉 世界の国々について、I want to go to....などの表現を用いて、行きたい国とその理由を伝え合う技能を身につけている。</p>	語句や表現の使用	自分の行きたい国やその理由について、 <u>学習した語句や表現に既習のものを加え</u> 、伝え合っている。	自分の行きたい国やその理由について、 <u>学習した語句や表現を使って</u> 伝え合っている。	一人では、自分の行きたい国やその理由について伝え合うことがまだ難しい。
思考・判断・表現	お互いのことを知るために、行きたい国とその理由を伝え合っている。	やり取りの流れ	お互いのことを知るために、自分の行きたい国とその理由について、 <u>内容を加えながら相手に伝えたり、相手の話すことに反応するだけではなく一言付け加えたりして</u> 、伝え合っている。	お互いのことを知るために、自分の行きたい国とその理由について、相手に伝えたり、 <u>相手の話すことに反応する表現を返しながら</u> 伝え合っている。	一人では、伝え合ったり、相手の言うことに反応したりすることがまだ難しい。
主体的に学習に取り組む態度	お互いのことを知るために、行きたい国とその理由を伝え合おうとしている。	相手意識・伝える工夫	相手に伝わりやすいように <u>ジェスチャーを工夫して</u> 伝えたり、 <u>相手の理解度を確かめながら</u> 、わかりやすく伝え合おうとしている。	相手に伝わりやすいようにはっきり伝えたり、 <u>相手の話すことになづいたりしながら</u> 、伝え合おうとしている。	一人では、相手を意識して、工夫して伝え合うことがまだ難しい。

◇発音・文法の正確さについては評価の対象としない。

【発話例】

S1: Where do you want to go?
S2: I want to go to China.
S1: Why?
S2: I want to eat Chinese food. I want to see pandas. I like pandas very much. How about you? Where do you want to go?
S1: I want to go to France.
S2: Oh, you want to go to France. Why?
S1: I want to visit museums.
S2: That's nice!
・学習した語彙・表現に既習の表現を加えている。
・相手に質問したりして会話を続けている。
・相手の答えに反応している。

【発話例】

S1: Where do you want to go?
S2: I want to go to China.
S1: Oh, China. Why?
S2: I want to eat Chinese food.
S1: Chinese food. Nice.
S2: I want to see pandas. How about you?
Where do you want to go?
S1: I want to go to France.
S2: Wow.

【改善点を含む発話例】

Q: Where do you want to go?
A: Go China.
*文章になっていない。
Q: Why?
A: I want Chinese food. I want panda.
*to eatやto seeが抜けている。

観点	Here We Go! 評価規準	評価項目	A 十分満足できる姿	B おおむね満足できる姿	C 努力を要する状態
知識・技能	〈知識〉 国名やWhere do you want to go? I want to go to..., You can...などの表現について理解している。 〈技能〉 世界の国々について、You can...などの表現を用いて、その国でできることなどを話す技能を身につけている。	語句や表現の使用	世界の国やその国でできることについて、学習した語句や表現に既習のものを加え、伝えている。	世界の国やその国でできることについて、学習した語句や表現のうちいずれかを用いて、伝えている。	一人では、世界の国やその国でできることについて伝えることがまだ難しい。
思考・判断・表現	自分が行きたい国の魅力を紹介するために、その国でできることなどを発表している。	考えの整理・構成	自分が行きたい国の魅力を紹介するために、世界の国やその国でできることについて、教科書の例を参考にしながら、内容を膨らませたり整理したりして、発表している。	自分が行きたい国の魅力を紹介するために、世界の国やその国でできることについて、教科書の例を参考にして、発表している。	一人では、世界の国やその国でできることについて、自分の考えを発表することがまだ難しい。
主体的に学習に取り組む態度	自分が行きたい国の魅力を紹介するために、その国でできることなどを発表しようとしている。	相手意識 伝える工夫	聞き手に伝わりやすいように、ジェスチャーや発表資料を工夫したり、聞き手の理解度を確かめながら、発表しようとしている。	聞き手に伝わりやすいように、発表資料をわかりやすく提示したりしながら、発表しようとしている。	一人では、聞き手に伝わるように発表しようとするのがまだ難しい。

◇発音・文法の正確さについては評価の対象としない。

【発話例】

What country do you like?
I like Egypt.
I want to go to Egypt.
In Egypt, you can ride a camel.
You can visit the pyramids.
You can see the sphinx.

- ・既習表現を組み合わせ、内容を膨らませている。
- ・自分なりの視点を持っている。
- ・ジェスチャーを交えて資料を示したり、聞き手の反応を観察している。

【発話例】

I want to go to Egypt.
In Egypt, you can visit the pyramids.
You can see the sphinx.

【改善点を含む発話例】

I want to go to Egypt.
In Egypt, ピラミッド。
(教師の補助が入って一緒に言い直す) You can visit the pyramids.
スフィンクス。
(教師の補助が入って一緒に言い直す) You can see the sphinx.
*教師や友達からの助けが必要。
*固有名詞だけで発表している。

観点	Here We Go! 評価規準	評価項目	A 十分満足できる姿	B おおむね満足できる姿	C 努力を要する状態
知識・技能	<p>〈知識〉 職業や性格を表す語句や, My hero is.... She [He] is....などの表現について理解している。</p> <p>〈技能〉 身近な人について、My hero is.... She [He] is....などの表現を用いて職業や性格を話す技能を身につけている。</p>	語句や表現の使用	身近な人について、 <u>学習した語句や表現に既習のものを加え</u> 、伝えている。	身近な人について、 <u>学習した語句や表現のうちいずれかを用いて</u> 、伝えている。	一人では、身近な人について伝えることがまだ難しい。
思考・判断・表現	自分の考えを伝えるために、身近なあこがれの人について、職業や性格、できることなどを発表している。	考えの整理・構成	自分の考えを伝えるために、身近なあこがれの人について、 <u>教科書の例を参考にしながら、内容を膨らませたり整理したりして</u> 、発表している。	自分の考えを伝えるために、身近なあこがれの人について、 <u>教科書の例を参考に</u> して、発表している。	一人では、身近なあこがれの人について、自分の考えを発表することがまだ難しい。
主体的に学習に取り組む態度	自分の考えを伝えるために、身近なあこがれの人について、職業や性格、できることなどを発表しようとしている。	相手意識・伝える工夫	聞き手に伝わりやすいように、 <u>ジェスチャーや発表資料を工夫したり、聞き手の理解度を確かめながら</u> 、発表しようとしている。	聞き手に伝わりやすいように、 <u>発表資料をわかりやすく提示したりしながら</u> 、発表しようとしている。	一人では、聞き手に伝わるように発表しようとするのがまだ難しい。

◇発音・文法の正確さについては評価の対象としない。

【発話例】
 My hero is Reiko.
 She is my mother.
She can cook very well.
She can play tennis and volleyball very well.
 (お母さんがテニスやバレーボールをしている写真を提示)
 She is tough.
 I love my mother.
 Thank you.

・既習表現を組み合わせ、内容を膨らませている。
 ・自分なりの視点を持っている。
 ・ジェスチャーを交えて資料を示したり、聞き手の反応を観察している。

【発話例】

My hero is Reiko.
 She is my mother.
 She is tough.
 She can play tennis very well.
 I love my mother.
 Thank you.

◇家族を紹介する場合、My hero is Reiko.と名前のみを伝えることで、発表を聞く児童に想像をさせるとよい。
 ◇家族以外を紹介する場合はGoto Reikoなどとフルネームを使用する。

【改善点を含む発話例】

My hero is Reiko.
 She is my mother.
 She is 頑張り屋さん
 (教師の補助が入って一緒に言い直す)
 She is tough.
 I love my mother.
 Thank you.

* あてはまる言葉を既習の語句から引き出すことができていない。
 * なぜ自分にとってのあこがれの人なのか、具体例がなく、相手に伝わらない。